

基本目標No.	5	基本目標名	豊かな自然と共生したまち
施策No.	35	施策名	水と緑の保全と活用
主管課名	環境安全課		
関係課名	企画政策課・農林水産課・埋没林博物館・水族博物館		

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・山から海までの自然環境が保全されています。 ・森林のもつ保水能力やCO2の吸収など多面的機能が維持・増進されています。 ・多様な生物が生息し、生態系が保全されています。 ・豊かな自然を体感し、親しむ場が整備されています。
-----------	--

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・業・民・所	<ul style="list-style-type: none"> ・「魚津の水循環」と生物多様性について学びます。 ・水と緑を守る活動に参加し、協力をします。 ・豊かな水と緑の恵みを体感し、自ら情報発信します。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の保全など生態系のバランスを保つための施策を行います。 ・水と緑の保全のための啓発を行います。 ・自然保護ボランティアの育成を行います。
	その他(地域)	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関・団体(県、森林組合、ボランティア団体、企業、農協、漁協等)と連携し、森林の保全、水辺地の保全など健全な水循環の保全を図るための取り組みを行います。

市民意識調査結果	<p>< 施策満足度調査結果 > ※27年度は「実感度」</p> <table border="1"> <tr> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> <tr> <td>0.293</td> <td>0.270</td> <td>0.269</td> <td>0.169</td> <td>0.327</td> </tr> </table>	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	0.293	0.270	0.269	0.169	0.327	
	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度							
0.293	0.270	0.269	0.169	0.327								
<p>< 施策重要度調査結果 ></p> <table border="1"> <tr> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> <tr> <td>0.689</td> <td>0.738</td> <td>0.573</td> <td>0.769</td> <td></td> </tr> </table>	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	0.689	0.738	0.573	0.769			
23年度	24年度	25年度	26年度	27年度								
0.689	0.738	0.573	0.769									

施策のトータルコスト	区 分	単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	—	9 (9)	11 (11)	11 (11)	11 (11)
うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	2 (2)	4 (4)	4 (4)	4 (4)	
うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	
うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	
うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	
B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	—	30,233	54,878	38,240	41,005	
うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	2,175	25,905	8,003	5,019	
うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	21,549	17,073	21,759	29,168	
うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	4,917	9,058	5,096	3,949	
うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	1,592	2,842	3,382	2,869	
C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	—	20	26	24	25	
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	—	4,200	6,720	7,320	6,560	
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	—	18,476	28,184	32,076	27,427	
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	—	48,709	83,062	70,316	68,432	
効率性指標	G. 市民1人あたりにおける施策の事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	—	682	1,246	878	950
	同上	円	—	—	417	640	736	636
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	—	1,099	1,886	1,614	1,586
	同上	円	—	—	1,099	1,886	1,614	1,586
参考	I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	—	1,099	1,886	1,614	1,586
	J. 1時間あたりの平均人件費	円	—	—	4,399	4,194	4,382	4,181
	K. 魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	—	44,315	44,036	43,555	43,152

基本事業概要シート①

施策No.	35	施策名	水と緑の保全と活用
基本事業名①		水循環の保全	
基本事業①の目的(意図)		森林などの保全による水の浸透・涵養能力の保全、海の藻場などを含む水辺地の保全・再生を図り、健全な水環境の保全を図ります。	
平成27年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【水資源調査研究事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休耕田等を利用した地下水涵養事業を魚津・滑川地域地下水利用対策協議会との共同により継続して実施しました。 ・「魚津の水循環に関する調査、研究」を富山大学と共同研究するとともに、平成27年度以降の新たな研究テーマの設定について、富山大学をはじめ庁内関係部課と協議、検討しました。(H27～:研究テーマ「魚津の水循環と農林水産業との関連性」について調査研究) <p>【環境基本計画策定事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津市環境基本条例第11条第1項に基づく「魚津市環境基本計画」の策定に向けた協議を関係組織で行い、平成28年3月に計画を策定しました。(市民会議、環境審議会、環境政策会議) <p>【魚津の水循環事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津埋没林博物館内に「魚津の水循環」等の解説動画の再生機を設置しました。 ・「魚津の水循環」の理解を深めるため、平成26年度に養成した市民ガイドと共に、一般市民を対象とした体験ツアーを5回開催しました。 	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
水循環が保全されていると思う市民の割合	%	—	61.0	62.0	63.0	64.0	65.0	60.0	80.0
			—	51.7	50.4	51.5	52.0	55.1	

基本事業①を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成27年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	水道事業会計(収益的支出)	○ ボトルウォーター事業	1,965,600	1,166,095	799,505	B	水道課
2	一般会計	◎ 魚津の水循環事業	905,000	718,369	186,631	A	企画政策課
3	一般会計	◎ 水資源調査研究事業	1,548,000	1,405,355	142,645	B	環境安全課
4	一般会計	◎ 環境基本計画策定事業	1,900,000	1,728,775	171,225	A	環境安全課
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			6,318,600	5,018,594	1,300,006		

基本事業概要シート②

施策No.	35	施策名	水と緑の保全と活用
基本事業名②		森林の整備・保全	
基本事業②の目的(意図)		森林の持つ保水能力やCO2の吸収などの多面的機能を維持・増進するため、適正な広葉樹と針葉樹の混交林整備や森林病虫害防除などを推進します。また、里山の持つ環境保全機能維持のための整備に取組みます。	
平成27年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【水と緑の森づくり事業】</p> <p>・人家、耕地周辺などの里山林(モウソウ竹林含む)や小規模な風雪被害林などで、整備及び管理並びに利用について、地域の合意形成が図られている森林を対象として地域や生活に密着した里山の再生整備を実施しました。</p> <p>【森林病虫害防除事業】</p> <p>・県内唯一の「航行目標保安林」として指定され、魚津市の歴史的価値を有する天神山において、松林の保全活動を実施しました。</p>	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
豊かな自然環境が保全されていると思う市民の割合	%	52.1 (H22)	53.4	54.7	56.0	57.4	58.7	60.0	65.0
カシノナガキクイムシ被害木の防除数	本	840	867	893	920	947	973	1,000	0.0
			860	888	532	539	401	64	

基本事業②を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成27年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	◎ 森林病虫害防除事業	384,000	371,200	12,800	A	農林水産課
2	一般会計	◎ 水と緑の森づくり事業	30,082,000	28,796,590	1,285,410	A	農林水産課
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			30,466,000	29,167,790	1,298,210		

基本事業概要シート③

施策No.	35	施策名	水と緑の保全と活用
基本事業名③		生態系の保全	
基本事業③の目的(意図)		魚津の山岳から沿岸にいたる全域の動植物の生息・育成調査を継続的に行うとともに、調査結果を公表し、情報を発信することにより、生態系の保全に努めます。	
平成27年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【生物多様性地域戦略推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性の保全の周知・啓発のため、自然観察ガイドマップの作成、セミナーの開催、図書館・小中学校等で関連図書コーナーを設けたブックフェアを開催するとともに、パネル展示を実施しました。また、自然観察・環境保全等体験会を実施し、市民の生きものとの触れ合いの機会を提供しました。 <p>【自然保護関係事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・池の尻自然環境保全地域の巡視を行い、適正な保全に努めました。(道路状況(崩落等)により、2回のみ実施) <p>【鳥獣適正管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野生鳥獣による農作物被害及び人身被害の防止のため、「鳥獣被害対策実施隊」(民間38名、市職員10名、計48名)を編成し、パトロール、追い払い、捕獲等の駆除活動を行いました。また、農家、地区住民のわな免許取得に努めました。 <p>【埋没林博物館調査研究事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津市の植物、地質、気象等に関する調査研究を行いました。 <p>【水族館博物館事業(生物調査事業)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水生生物調査(魚類・両生類)に加えて、魚津市内の動物(爬虫類・鳥類・哺乳類)の調査を行いました。 	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
年間生物調査回数	回	30	31 30	32 20	33 30	34 37	35 40	36 41	36

基本事業③を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成27年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	自然保護関係事業	59,000	25,149	33,851	-	環境安全課
2	一般会計	○ 生物多様性地域戦略推進事業	500,000	343,508	156,492	A	環境安全課
3	一般会計	鳥獣適正管理事業	3,845,000	3,580,416	264,584	-	環境安全課
4	一般会計	埋没林博物館調査研究事業(施策31③再掲)	(1,214,000)	(1,205,968)	(8,032)	-	埋没林博物館
5	水族館事業特別会計	◎ 水族館博物館事業(施策31③再掲)	(9,431,301)	(8,716,762)	(714,539)	A	水族博物館
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			4,404,000	3,949,073	454,927		

基本事業概要シート④

施策No.	35	施策名	水と緑の保全と活用
基本事業名④		自然の活用と公園の整備	
基本事業④の目的(意図)		自然公園などの豊かな環境を守るとともに、訪れた人々が憩い、感動できる場所にするため、自然公園内の景観保全に留意しながら、施設を整備します。自然解説員と連携しながら、親しみやすい公園にします。	
平成27年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【県立・県定公園施設維持管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松倉城跡県定公園、片貝県定公園、僧ヶ岳県立自然公園内の林業施設等に関する整備事業を実施しました。また、僧ヶ岳登山口の駐車場を整備しました。 <p>【里山林オーナー事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山(約42,000㎡)を市で借り入れ、約1,000~2,000㎡の区画に小分けにし、森林浴などの自然とのふれあいを希望する人に貸し出しました。平成27年度は12区画を貸し出しました。 	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
自然を体感し満喫することができていると感じている市民の割合	%	25.8	26.5	27.2	27.9	28.6	29.3	30.0	35.0
			25.8	35.6	30.9	32.1	28.3	29.5	

基本事業④を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成27年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	◎ 県立・県定公園施設維持管理事業	3,214,000	2,869,341	344,659	A	農林水産課
2	予算なし	里山林オーナー事業	0	0	0	-	農林水産課
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			3,214,000	2,869,341	344,659		

施策No.	35	施策名	水と緑の保全と活用
-------	----	-----	-----------

1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景
(成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)

- 【①水循環の保全】
 ◆水循環の保全に関する成果指標「水循環が保全されていると思う市民の割合」では、市民の半数以上(H26:52.0%、H27:55.1%)が、「水循環が保全されている」と感じており、その割合は増加傾向にあります。
- 【②森林の整備・保全】
 ◆森林の整備・保全に関する市民意識調査結果では、市民の半数近く(45.1%)が、「豊かな自然環境が保全されている」と感じています。
 ◆カシノナガキクイムシによる被害については、急激に減少しており、終息したと考えられます。
- 【③生態系の保全】
 ◆生態系の保全推進のための「生物多様性うおつ戦略」を平成26年3月に策定しました。しかし、市民意識調査結果では、生物多様性の認識(意味まで分かる人の割合)が、34.5%とまだまだ低い状況にあります。
 ◆鳥獣被害防止のための野生鳥獣捕獲頭数は、平成27年度は、サル82頭、カラス190頭、クマ34頭、イノシシ73頭となり、前年度と比較し捕獲頭数が大幅に増えています。しかし、それにも増してイノシシ等有害鳥獣の生息数が増加している状況にあります。
- 【④自然の活用と公園の整備】
 ◆自然の活用と公園の整備に関する市民意識調査結果では、「自然を体感し、満喫することができている」と感じる市民の割合は、市の目標値(30.0%)をやや下回っており、十分に満足されているとは言えない状況です。
 ◆本市にある中部山岳国立公園、僧ヶ岳県立自然公園、松倉城跡県定公園、片貝県定公園などの国や県の指定を受けた自然公園は、適正な保護、管理が行われています。

2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括
(27年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)

- 【①水循環の保全】
 <水資源調査研究事業>
 ◆富山大学との共同研究については、富大及び庁内関係部課と協議、検討し、平成27年度以降は「魚津の水循環と農林水産業との関連性」をテーマとして、沿岸部の藻場等に関連する基礎データの収集、整理等を進めるなど、引き続き調査・研究を実施しました。
 ◆地下水涵養事業については、魚津市東蔵・平沢地内の1.92haにおいて実施しました。
- <環境基本計画策定事業>
 ◆魚津市環境基本条例第11条第1項に基づく「魚津市環境基本計画」を平成28年3月に策定しました。(市民会議、環境審議会、環境政策会議)
- <魚津の水循環事業>
 ◆水循環遺産の紹介DVDを作成し、魚津市の貴重な地域資源である「魚津の水循環」を広く市民に周知しました。
- 【②森林の整備・保全】
 <水と緑の森づくり事業、森林病害虫等防除事業>
 ◆市内8地区、24haの里山について整備を行いました。また、カシノナガキクイムシの被害による枯損木を除去しました。(除去本数:64本)
- 【③生態系の保全】
 <生物多様性地域戦略推進事業>
 ◆生物多様性の保全の周知・啓発のため、自然観察ガイドマップの作成、セミナーの開催、図書館・小中学校等で関連図書コーナーを設けたブックフェアを開催するとともに、パネル展示を実施しました。また、自然観察・環境保全等体験会を実施し、市民の生きものとの触れ合いの機会を提供しました。
- <水族館博物館事業(生物調査事業)>
 ◆水生生物調査(魚類・両生類)に加えて、魚津市内の動物(爬虫類・鳥類・哺乳類)の調査を行いました。
- <鳥獣適正管理事業>
 ◆野生鳥獣による農作物被害及び人身被害の防止のため、「鳥獣被害対策実施隊」(民間38名、市職員10名、計48名)を編成し、パトロール、追い払い、捕獲等の駆除活動を行いました。被害発生地域の住民には、市補助を活用したわな免許の取得を促しながら、官民一体となった被害対策を推進しました。(わな免許取得 被害発生地域で14人)また、市職員有害鳥獣捕獲隊についても、平日、勤務時間帯で駆除活動を行いました。(出勤実績11日、延べ23名)
- 【④自然の活用と公園の整備】
 <県立・県定公園施設維持管理事業>
 ◆片貝県定公園内市道南又線のマイカーの通行自粛区間の設定やレンタサイクルの貸出し等により、車両の乗り入れの抑制に努めました。また、片貝山の守キャンプ場を適切に管理し、豊かな自然とのふれあいや観察等の機会の提供に努めました。また、僧ヶ岳登山口の駐車場を整備しました。
- <自然保護関係事業>
 ◆池の尻自然環境保全地域の巡回調査を2回実施したところ、同所の環境は保全されていると考えています。

3. 施策の課題認識及び取り組み状況
(前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)

- 【①水循環の保全】
 ◆平成28年3月に策定した「環境基本計画」について、冊子の作成や概要版を全戸配布するなど引き続き周知・啓発に努めていきます。
 ◆富山大学との水資源に係る共同研究については、「魚津の水循環と農林水産業との関わり」をテーマとして、沿岸部の藻場に関する調査・研究を実施していきます。また、魚津・滑川地域地下水利用対策協議会との連携による地下水涵養事業を継続して行っていきます。
 ◆水は、有限であり、本市の貴重な地域資源です。引き続き、市民、事業所等への水の利用や地下水の保全等の啓発に努めるとともに、水循環プロモーション事業、水の学び舎事業を実施していきます。
 ◆水循環を広く市民に伝え保全していくため、平成24年度から継続している市民向けツアーを実施するとともに、「市民ガイド養成講座」を開催し、市民ガイドによるツアーを実施しています。また、プロモーション事業として水循環遺産の解説板や標柱、遺産マップや解説パンフレットを整備していきます。
- 【②森林の整備・保全】
 ◆カシノナガキクイムシによる被害は終息しましたが、多くの枯損木が残存しており、景観を損ねたり林道の通行の支障になったりしています。また、手入れ不足となっている里山が多く、野生鳥獣による農作物被害の一因となっていることから、引き続き「水と緑の森づくり税」を活用した以下の事業を推進していきます。
- ①地域や生活に密着した里山の再生を地域住民と協働で推進する「里山再生整備事業」や森林現況調査及び所有界調査、里山林整備(広葉樹林等)、県民参加の森づくり事業。
 - ②放置人工林、過密人工林、風雪被害林などを針葉樹と広葉樹の混交林に誘導する「みどりの森再生事業」。
 - ③カシノナガキクイムシ枯損木除去事業に加え、松くい虫枯損木除去事業にも取り組んでいきます。
- ◆2017年春に魚津市桃山運動公園で開催予定の「第68回全国植樹祭」については、国や県等と連携して会場や周辺の整備を進めていきます。また、市内関係団体及び庁内組織の体制を整えます。
- 【③生態系の保全】
 ◆生物多様性うおつ戦略に定めた各種施策や重点的取り組みを実施していきます。また、生物多様性に対する理解と連携、協力を得るための普及啓発に努めていきます。
 ◆野生鳥獣による農作物等の被害は拡大しており、対策の強化、充実を図る必要があります。実施隊と行政に加え、被害発生地域等の住民や農林関係団体とも連携し、対策の強化を図ります。また、「わな免許」取得促進と自主防衛意識の高揚に努めるとともに、市職員有害鳥獣捕獲隊の本

27年度の
評価結果
(基本事業
の成果を
考慮し記載)

<p>部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆魚津の水循環や生物多様性といった、本市特有の魅力的な自然環境を活用し、市民や来訪者等へ自然を体感して親しむ機会や場を提供していくこと。 ◆魚津の水循環について、水循環遺産の周知や水の学び舎ツアーの実施等により、引き続き、市内外へPRするとともに、市民等の水資源等の保全意識の高揚を図っていくこと。 ◆生物多様性の保全のため、セミナー等を開催し引き続き、市民等への周知・啓発を図るとともに、市民、事業者、行政が連携・協力し、取り組みを進めていくこと。 ◆鳥獣被害対策実施隊、被害地域の住民、農林業関係団体と行政の四者連携による総合的な対策を進めていくこと。 ◆「第68回全国植樹祭」については、関係機関等との連携、協議を図り確実に進めていくこと。また、魚津の森づくりや豊かな自然など魚津の魅力を全国に発信する機会となるよう企画運営に努めること。
<p>経営戦略会 議における施 策の課題及 び方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民、事業者、行政等が連携協力し、魚津の水循環や生物多様性など魅力的な自然環境の保全と持続可能な利用等に取り組みます。

28年度開始 の第10次基本 計画における 対応施策	施策No.	施策名	基本事業①	水循環の保全
	34	水と緑の保全と活用	基本事業②	生態系等の保全
			基本事業③	豊かな自然の活用の推進
			基本事業④	
第9次基本計画 からの変更 点	旧基本②「森林の整備・保全」を新基本①「水循環の保全」へ統合。 旧基本④「自然の活用と公園の整備」を新基本③「豊かな自然の活用の推進」に変更。 施策No.繰上げあり。			